

令和元年度

飯島町水道事業会計決算審査意見書

飯島町監査委員

# 令和元年度飯島町水道事業会計決算審査意見書

## 第1 審査の対象

令和元年度飯島町水道事業会計

## 第2 審査の期日

令和2年6月23日

## 第3 審査の方法

町長から審査に付された決算財務諸表並びに決算報告書が、令和元年度における水道事業の経営成績と財政状態を適正に表示しているかどうかについて、会計諸帳簿及び例月出納検査との照合などにより検証した。

また、年度内の事業全般について関係職員から説明を求め、公営企業の基本原則である公共の福祉増進と経済性発揮の観点から審査した。

## 第4 審査の結果

損益計算書、貸借対照表等の決算財務諸表、並びに決算報告書及びその他付属書類については、計数に誤りなく適正に記帳されており、当会計年度における水道事業の経営成績及び財政状態を正確に表示しているものと認められた。

また、現金預金、基金の管理についても適正に行われていることを確認した。

## 第5 総括的意見

水道水の安定供給という重要な事業を担って、令和元年度も断水に至る大きな災害や事故なども無く年度内の安定供給ができたことは評価に値するものであり、一年間積極的に水道の安定供給に努めた担当職員の取り組みに感謝したい。

町民人口の減少により給水人口、給水量も年々減少が続いているが、給水管の布設工事を継続して積極的に行っていること、配水管の水漏れに対する担当職員の積極的な取り組みがされていることから、有収率は78.4%と前年度比+0.8%と向上しており、良好な状況を確保したことは評価に値する。

今後は、平成23年度策定の水道ビジョンに掲げた目標有収率82.4%を目指して水道管の漏水減少、安定供給の必要性からも、老朽化した水道管の布設替えにより一層取り組まれない。

また、当年度の純利益は2,260万円、前年度より150万円の増となり未処分利益剰余金は1億9,000万円と安定した経営状況が続いている。

しかし、現況は水道管や建物等の更新に資金が必要であり、加えて企業債の元利償還と多額の資金を必要としている。

一方、企業債の状況を見ると4%台の借入償還が進みつつあり、近年の借入利率は1%を下回っている。低利の新規借入れを検討して、耐用年数越えの水道管の更新や老朽化している建物の更新を具体的に進めて行く時期に来ており、早期に具体的な実施計画の確定が必要である。

最後に、引き続き良質な水道水の安定供給が行われる事業運営を期待する。

## 第6 決算の概要

### 1 業務実績

令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の業務実績は次表のとおりである。

#### (1) 業務実績

区 分		平成30年度	令和元年度	対前年度	比較
		(B)	(A)	(A) - (B)	(A)/(B)
年度末行政区域人口	(人)	9,446	9,308	-138	98.5%
年度末給水人口	(人)	9,332	9,198	-134	98.6%
年度末給水件数	(件)	3,727	3,738	11	100.3%
配水量	年間 (m <sup>3</sup> )	1,166,223	1,126,332	-39,891	96.6%
	日平均 (m <sup>3</sup> )	3,195	3,086	-109	96.6%
有収水量	年間 (m <sup>3</sup> )	905,542	883,142	-22,400	97.5%
	日平均 (m <sup>3</sup> )	2,481	2,420	-61	97.5%
1日最大配水量	(m <sup>3</sup> )	4,271	4,078	-193	95.5%
負荷率	(%)	74.8%	75.7%	0.9%	101.2%
有収率	(%)	77.6%	78.4%	0.8%	100.0%
1人1日最大配水量	(ℓ)	457.7	443.4	-14.3	96.9%
1人1日平均有収水量	(ℓ)	265.9	263.1	-2.8	98.9%

(注) 配水量 = 年間総配水量（浄水して配水した水量）

有収水量 = メーター器を通過して課金される水量

負荷率 = 配水量（日平均） ÷ 1日最大配水量 × 100

有収率 = 有収水量（年間） ÷ 配水量（年間） × 100

1人1日最大配水量 = 1日最大配水量 ÷ 給水人口

1人1日平均有収水量 = 有収水量（年間） ÷ 日数（年間） ÷ 給水人口

#### (2) 給水人口・有収水量の推移

項 目		H12年	H22年	H27年	H28年	H29年	H30年	R01年	
年度末行政区域人口	人	11,182	10,190	9,780	9,686	9,577	9,446	9,308	
給水人口	人	10,992	9,947	9,660	9,564	9,463	9,332	9,198	
有収水量	m <sup>3</sup>	1,041,712	916,006	899,700	912,601	912,099	905,542	883,142	
内 訳	生活	m <sup>3</sup>	779,031	718,669	711,637	723,073	715,282	710,189	701,963
	営業	m <sup>3</sup>	122,464	124,451	125,303	124,861	125,233	125,256	117,541
	工場	m <sup>3</sup>	128,367	62,315	57,613	57,271	63,405	62,725	56,937
	その他	m <sup>3</sup>	11,850	10,571	5,147	7,396	8,179	7,372	6,701

当年度の業務実績をみると、令和2年3月31日現在の給水人口は9,198人であり、また、年間の配水量は1,126,332m<sup>3</sup>、有収水量は883,142m<sup>3</sup>である。水源別内訳は、表流水99.6%、地下水0.4%である。

## 2 予算の執行状況 (決算報告書(消費税込み))

### (1) 収益的収入及び支出

予算執行状況は次表のとおりである。

【収益的収入】 (単位：円・%)

項目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	収入率 (B)/(A)
営業	収益	207,171,000	205,373,948	-1,797,052	99.1%
営業	外収益	21,482,000	21,423,735	-58,265	99.7%
合	計	228,653,000	226,797,683	-1,855,317	99.2%

予算額228,653千円に対し、決算額は226,798千円であり1,855千円下回り、執行率は99.2%となっている。

営業収益の主なものは、給水収益(水道使用料)186,138千円(税抜き)である。

営業外収益の主なものは、長期前受戻入19,051千円である。

【収益的支出】 (単位：円・%)

項目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A) - (B)	支出率 (B) / (A)
営業	費用	172,748,000	163,191,888	9,556,112	94.5%
営業	外費用	32,617,000	29,722,518	2,894,482	91.1%
特別	損失	1,000	0	1,000	0.0%
予備	費	2,000,000	0	2,000,000	0.0%
合	計	207,366,000	192,914,406	14,451,594	93.0%

予算額207,366千円に対し、決算額は192,914千円で、不用額は14,452千円であり、執行率は93.0%となっている。

営業費用の主なものは、減価償却費108,498千円、総係費23,365千円(税抜き)、配水及び給水費15,501千円(税抜き)である。

営業外費用の主なものは、企業債の支払利息27,855千円である。

### (2) 資本的収入及び支出

予算執行状況は次表のとおりである。

【資本的収入】 (単位：円・%)

項目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)
企業	債	169,100,000	146,300,000	-22,800,000
負担	金	14,000,000	14,000,000	0
繰入	金	1,000,000	1,000,000	0
合	計	184,100,000	161,300,000	-22,800,000

予算額184,100千円に対し、決算額は161,300千円であり22,800千円下回り、執行率は87.6%となっている。

建設改良事業のための企業債借入金126,300千円、資本費平準化債20,000千円である。

## 【資本的支出】

(単位：円・%)

分 項目	区	予算額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)- (C)
建設改良費		174,601,000	142,587,100	29,766,400	2,247,500
企業債償還金		111,439,000	111,438,777		223
合計		286,040,000	254,025,877	29,766,400	2,247,723

予算額286,040千円に対し、決算額は254,026千円で、翌年度繰越が29,766千円、不用額は2,248千円となり、執行率は88.8%となっている。

建設改良費の主なものは、上水道配水管布設替工事（中平自治会 町道田切北線・町道下街道線、本郷第一自治会 町道本郷中央縦断線、上通り自治会 町道七久保大横道線、日曾利自治会 町道山の田線 他）の9件、計101,760千円（税抜き）、上水道配水管敷設工事（南田切自治会 町道下ノ窪線）10,870千円（税抜き）、上水道仮設管敷設工事（中平自治会 町道田切北線）1,140千円（税抜き）遠距離給水管増径工事（春日平自治会 町道町屋線、荒田自治会 町道北街道縦3号線 他）2件、3,130千円、上水道配水管増径工事（岩間自治会 町道仲通り線 他）2,110千円）樽ヶ沢浄水場・日曾利山の田浄水場 システム更新工事等 5件、10,775千円（税抜き）である。

企業債償還金は前年度より421千円減の111,439千円であった。

## 【資本的収支の不足額補てん内訳】

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額の補てん財源は次表のとおりである。

(単位：円)

区分	収入	支出	不足額	補填財源
決算額	161,300,000	254,025,877	92,725,877	過年度分損益勘定留保資金
				81,372,867
				当年度分損益勘定留保資金
				0
				当年度分消費税及び地方消費税 資本的収支調整額
				11,353,010
				建設改良積立金
				0

### 3 経営成績（損益計算書（消費税抜き））

経営成績は次表のとおりである。

（単位：円・％）

区分	平成30年度	令和元年度	対前年度	比較
	(B)	(A)	(A) - (B)	(A) / (B)
総収益 a	214,423,481	210,725,485	-3,697,996	98.3%
総費用 b	193,319,823	188,043,796	-5,276,027	97.3%
差引損益 a-b	21,103,658	22,681,689	1,578,031	-
総収支比率 a/b	110.9%	112.1%	3.5%	-

総収益は210,726千円、総費用は188,044千円であり、差引収益は22,682千円の純利益を生じ、総収支比率は112.1%である。

なお、前年度繰越利益剰余金167,602千円に当年度純利益22,682千円を加えると、当年度未処分利益剰余金は190,284千円である。

経常収支比率の推移は次表のとおりである。

（単位：円・％）

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益 a	217,020,783	218,405,719	214,423,481	210,725,485
経常費用 b	202,519,138	203,265,969	193,319,823	188,043,796
差引経常収益（損益） a-b	14,501,645	15,139,750	21,103,658	22,681,689
経常収支比率 a/b	107.2%	107.4%	110.9%	112.1%

※ 経常収支比率とは、経常収益（営業収益＋営業外収益）と経常費用（営業費用＋営業外費用）を対比したものであり、経常的な収益と費用の関連を示すものである。

#### (1) 供給単価と給水原価の比較

有収水量 1 m<sup>3</sup>当りの供給単価と給水原価の推移は次表のとおりである。

（単位：円・m<sup>3</sup>）

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
給水収益	190,605,618	191,273,551	190,295,908	186,138,434
年間総有収水量	912,601	912,099	905,542	883,142
供給単価 a	208.86	209.71	210.15	210.77
給水原価 b	198.65	197.98	191.24	189.83
比較 a-b	10.21	11.73	18.91	20.94

※ 供給単価＝給水収益÷年間総有収水量

給水原価＝（経常費用－（受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋付帯事業費））÷年間総有収（給水）量

供給単価は、前年度と横並びとなり、給水原価は前年度より1円程度減少した。その結果、供給単価から給水原価を差し引いた額は20円94銭の黒字となっている。

## (2) 収益

収益は次表のとおりである。

(単位:円・%)

区分	平成30年度		令和元年度		対前年度	比較
	決算額 (B)	構成比	決算額 (A)	構成比	(A)-(B)	(A)/(B)
営業収益	193,414,964	90.2%	189,497,076	89.9%	-3,917,888	98.0%
給水収益	190,295,908	88.8%	186,138,434	88.3%	-4,157,474	97.8%
受託工事収益	955,500	0.4%	1,060,500	0.5%	105,000	111.0%
その他営業収益	2,163,556	1.0%	2,298,142	1.1%	134,586	106.2%
営業外収益	21,008,517	9.8%	21,228,409	10.1%	219,892	101.0%
加入金	1,640,000	0.8%	1,855,000	0.9%	215,000	113.1%
受取利息及び配当金	311,135	0.1%	29,980	0.0%	-281,155	9.6%
長期前受金戻入	18,951,173	8.8%	19,051,192	9.0%	100,019	100.5%
雑収益	106,209	0.1%	292,237	0.2%	186,028	275.2%
合 計	214,423,481	100.0%	210,725,485	100.0%	-3,697,996	98.3%

収益合計は210,725千円であり、前年度より3,698千円減少した。

### ① 営業収益

営業収益は、前年度より3,198千円(2.0%)減少した。これは、主に給水収益4,157千円(2.2%)、減少したことによるものである。

### ② 営業外収益

営業外収益は、前年度より220千円(1.0%)増加した。これは、主に加入金215千円(13.1%)、雑収益186千円(175.2%)、増加したことによるものである。

### (3) 費用

費用は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	平成30年度		令和元年度		対前年度	比較
	決算額 (B)	構成比	決算額 (A)	構成比	(A)-(B)	(A)/(B)
営業費用	162,899,333	84.3%	160,091,178	85.1%	-2,808,155	98.3%
原水費	2,245,591	1.2%	2,298,303	1.2%	52,712	102.3%
浄水費	10,560,477	5.5%	8,754,885	4.7%	-1,805,592	82.9%
配水及び給水費	18,346,213	9.5%	15,500,855	8.2%	-2,845,358	84.5%
受託工事費	910,000	0.5%	1,010,000	0.5%	100,000	111.0%
総係費	22,875,089	11.8%	23,364,676	12.4%	489,587	102.1%
減価償却費	107,201,639	55.5%	108,497,886	57.7%	1,296,247	101.2%
資産減耗費	476,724	0.2%	328,505	0.2%	-148,219	68.9%
その他営業費用	283,600	0.1%	336,068	0.2%	52,468	118.5%
営業外費用	30,420,490	15.7%	27,952,618	14.9%	-2,467,872	91.9%
支払利息	30,348,916	15.7%	27,855,456	14.8%	-2,493,460	91.8%
雑支出	71,574	0.0%	97,162	0.1%	25,588	135.8%
合計	193,319,823	100.0%	188,043,796	100.0%	-5,276,027	97.3%

費用合計は188,044千円であり、次の要素により前年度より5,276千円 (2.7%) 減少している。

#### ① 営業費用

営業費用は、前年度に比べ2,808千円 (1.7%) 減少している。これは、主に減価償却費が1,296千円 (1.2%) 増加しているものの、浄水費1,806千円 (17.1%)、配水及び給水費2,845千円 (15.5%) 減少したことによるものである。

#### ② 営業外費用

営業外費用は、前年度より2,468千円 (8.1%) 減少している。これは、企業債の支払利息が2,493千円 (8.2%) 減少したことによるものである。



#### 4 財政状況（貸借対照表(消費税抜き)）

##### (1) 資産

令和2年3月31日現在の資産の状況は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	平成30年度		令和元年度		対前年度 (A)-(B)	比較 (A)/(B)
	金額 (B)	構成比	金額 (A)	構成比		
固定資産	2,920,158,782	89.3%	2,942,566,481	88.5%	22,407,699	100.8%
有形固定資産	2,917,988,782	89.2%	2,940,551,481	88.4%	22,562,699	100.8%
土地	14,854,083	0.5%	14,854,083	0.4%	0	100.0%
建物	3,071,969	0.0%	2,905,743	0.0%	-166,226	94.6%
構築物	2,786,140,453	85.2%	2,807,000,391	84.5%	20,859,938	100.7%
機械及び装置	110,479,860	3.4%	112,716,903	3.4%	2,237,043	102.0%
車両及び運搬具	13,564	0.0%	13,564	0.0%	0	100.0%
工具器具及び備品	3,428,853	0.1%	3,060,797	0.1%	-368,056	89.3%
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	
無形固定資産	2,170,000	0.1%	2,015,000	0.1%	-155,000	92.9%
水利権	2,170,000	0.1%	2,015,000	0.1%	-155,000	92.9%
流動資産	351,121,425	10.7%	382,975,865	11.5%	31,854,440	109.1%
現金・預金	343,768,180	10.5%	379,716,726	11.4%	35,948,546	110.5%
未収金	6,868,025	0.2%	2,823,727	0.1%	-4,044,298	41.1%
貯蔵品	485,220	0.0%	435,412	0.0%	-49,808	89.7%
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	
合計	3,271,280,207	100.0%	3,325,542,346	100.0%	54,262,139	101.7%

資産合計は3,325,542千円であり、次の要素により前年度より54,262千円（1.7%）増加している。

##### ① 固定資産

固定資産は、前年度より22,408千円（0.8%）増加している。これは、主に有形固定資産の構築物が20,860千円（0.7%）、機械及び装置が2,237千円（2.0%）増加したことによるものである。

##### ② 流動資産

流動資産は、前年度より31,854千円（9.1%）増加している。これは、主に未収金が4,044千円（58.9%）減少し、現金・預金が35,949千円（10.5%）増加したことによるものである。

(a) 未収金

内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
営業未収金	2,903,727
給水収益（水道料金）未収金	2,878,727
その他営業未収金（開閉栓手数料他）	25,000
貸倒引当金	-80,000
合 計	2,823,727

(b) 貯蔵品

内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
材料（漏水修理材料等）	410,412
貯蔵量水器	25,000
合 計	435,412

## (2)負債・資本

令和元年3月31日現在の負債・資本の状況は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	平成30年度		令和元年度		前年対比 (A)-(B)	比較 (A)/(B)
	金額 (B)	構成比	金額 (A)	構成比		
負債	1,953,933,794	59.7%	1,985,514,244	59.7%	31,580,450	101.6%
固定負債	1,354,932,678	41.4%	1,385,779,301	41.7%	30,846,623	102.3%
企業債	1,354,932,678	41.4%	1,385,779,301	41.7%	30,846,623	102.3%
建設改良等の財源	1,324,932,678	40.5%	1,335,779,301	40.2%	10,846,623	100.8%
その他企業債	30,000,000	0.9%	50,000,000	1.5%	20,000,000	166.7%
流動負債	112,843,847	3.4%	117,628,866	3.5%	4,785,019	104.2%
企業債	111,438,777	3.4%	115,453,377	3.5%	4,014,600	103.6%
建設改良等の財源	111,438,777	3.4%	115,453,377	3.5%	4,014,600	103.6%
未払金	13,070	0.0%	244,485	0.0%	231,415	1870.6%
引当金	1,392,000	0.0%	1,751,000	0.1%	359,000	125.8%
賞与引当金	1,148,000	0.0%	1,472,000	0.1%	324,000	128.2%
法定福利費引当金	244,000	0.0%	279,000	0.0%	35,000	114.3%
その他流動負債	0	0.0%	180,004	0.0%	180,004	皆増
繰延収益	486,157,269	14.9%	482,106,077	14.5%	-4,051,192	99.2%
長期前受金	486,157,269	14.9%	482,106,077	14.5%	-4,051,192	99.2%
工事負担金	86,029,684	2.6%	96,863,742	2.9%	10,834,058	112.6%
補助金	22,456,692	0.7%	21,718,701	0.7%	-737,991	96.7%
その他長期前受金	377,670,893	11.6%	363,523,634	10.9%	-14,147,259	96.3%
資本	1,317,346,413	40.3%	1,340,028,102	40.3%	22,681,689	101.7%
資本金	514,875,197	15.7%	514,875,197	15.5%	0	100.0%
剰余金	802,471,216	24.6%	825,152,905	24.8%	22,681,689	102.8%
資本剰余金	533,368,948	16.4%	533,368,948	16.0%	0	100.0%
その他資本剰余金	533,368,948	16.4%	533,368,948	16.0%	0	100.0%
利益剰余金	269,102,268	8.2%	291,783,957	8.8%	22,681,689	108.4%
減債積立金	11,000,000	0.3%	11,000,000	0.4%	0	100.0%
本取水施設管理 基金積立金	90,500,000	2.8%	90,500,000	2.7%	0	100.0%
当年度未処分 利益剰余金	167,602,268	5.1%	190,283,957	5.7%	22,681,689	113.5%
合 計	3,271,280,207	100.0%	3,325,542,346	100.0%	54,262,139	101.7%

負債・資本合計は3,325,542千円であり、前年度より54,262千円(1.7%)増加している。

① 負債

負債は、固定負債1,385,779千円、流動負債117,629千円、繰延収益482,106千円の合計1,985,514千円であり、流動負債中の未払金は次表のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
未払金	244,485
営業未払金（公用車燃料代）	12,485
営業外未払金（消費税）	232,000
その他未払金	0
その他流動負債（預り金）	180,004

② 資本

資本は、資本金514,875千円、剰余金825,153千円の合計1,340,028千円である。

③ 実質流動比率及び資金不足比率

実質流動比率は、325.6%であり、極めて健全であるといえる。

資金不足比率はマイナスのため資金不足は生じていない。

(単位：円)

	令和元年度	平成30年度	備 考
実質流動化率	325.6%	311.2%	200%以上は良好
資金不足比率	—	—	数値はマイナスとなる